

報告事項ソ

企画展「とっとりの化石 EXPO!2018」及び美術部門テーマ展示「動／静 -内田あぐり＋鳥取県立博物館コレクション-」の開催について

企画展「とっとりの化石 EXPO!2018」及び美術部門テーマ展示「動／静 -内田あぐり＋鳥取県立博物館コレクション-」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成30年7月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 企画展「とっとりの化石 EXP0!2018」及び美術部門テーマ展示「動／静 (内田あぐり+鳥取県立博物館コレクション)」の開催について

## I 企画展「とっとりの化石 EXP0!2018」

- 1 趣 旨 鳥取県には、鳥取市国府町宮下の魚類化石、鳥取市佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石、日野郡日南町多里の貝類化石など全国的にも有数の化石産地が存在する。これらの産地からは、トットリムカシギンポ（魚類化石）やイナバムカシアブラゼミ（昆虫化石）など40種を超える新種が発見されており、生物進化の解明や古環境の復元に貢献してきた。

本企画展では、鳥取県内の代表的な化石産地を中心に、産出した化石や古環境を紹介し、化石産地としての鳥取県を再認識・再評価する。そして、この展示を通じて新たな課題を共有し、鳥取県の化石研究の“これから”を展望していきたい。

- 2 会 期 平成30年7月14日（土）～8月26日（日） 休館日：なし  
開館時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日は午後7時まで）

- 3 会 場 鳥取県立博物館 第1特別展示室

- 4 入館料 一般500円（団体・前売り・大学生・70歳以上 300円）  
※高校生以下の方、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者、学校教育活動での引率者は無料

## 5 展示構成

- (1) インTRODakション：鳥取県最古の化石の紹介と、化石とは何かを解説することで本企画展の導入とする。
- (2) 鳥取県の化石：鳥取県各地域の代表的な化石産地を紹介し解説する。あわせて、化石と比較できる現生動植物標本も展示する
- (3) 山陰沖の化石：山陰沖で採集された哺乳類化石を、現生標本とともに展示する。
- (4) 隣県の化石：鳥取県の化石と比較できる隣県（島根・広島・岡山・兵庫県）産化石を展示する。
- (5) 化石発掘への導入：発掘作業に必要な道具・装備等を展示・紹介し、化石発掘について解説する。

## 6 関連事業

- ・7月15日（日）、8月12日（日）、26日（日） 「ギャラリートーク」
- ・7月22日（日） 自然講座「化石レプリカをつくろう！」
- ・7月28日（土） 美術ワークショップ「化石でフロッタージュ！」
- ・7月29日（日） 特別講演会「世界の魚類化石：シーラカンスから国府町宮下まで（仮）」
  
- ・8月4日（土） 自然講座「地層のでき方大実験！」
- ・8月5日（日） 自然講座「みて！さわって！ホネを楽しもう！」
- ・8月11日（土） 野外観察会「化石をさがせ！in 春米」

## II 美術部門テーマ展示「動／静（内田あぐり＋鳥取県立博物館コレクション）」

- 1 趣 旨 鳥取県立博物館の美術部門では、夏休み企画テーマ展示として、当館美術部門のコレクションを中心とした展覧会を開催している。本年度は人体をモチーフにダイナミックな身体の動きを表現してきた日本画家、内田あぐりさんを迎えて、「動／静」というテーマで美術表現の多様な在り方を探る。展示にあたっては、新しい試みとして、内田さん自身にこのテーマのもとに自らの作品と一緒に展示する作品をコレクションの中から選んでいただく。
  
- 2 会 期 平成30年7月21日（土）～8月26日（日） 休館日：なし  
開館時間：午前9時～午後5時（土、日、祝日は午後7時まで）
  
- 3 会 場 鳥取県立博物館 2階 近代美術展示室
  
- 4 入館料 常設展示の入館料 一般180(150)円 ※（ ）内は20名以上の団体料金  
※大学生以下の方、学校教育活動での引率者、70歳以上の方、  
障がいのある方・難病患者の方・要介護者及びその介護者は無料
  
- 5 展示内容 日本画家 内田あぐり  
《continue #052-061》、《私の前にいる、踊っている、目を閉じている》、《河》  
尾崎悌之助 《原始への夢》  
塩谷定好 《海》 他
  
- 6 関連事業 スペシャルワークショップ  
講 師：武蔵野美術大学 教授 内田あぐりさん、武蔵野美術大学 日本画研究室 学生4名  
ゲスト：舞踏家 大竹宥熙さん（おおたけ・ゆうき、1950年生まれ、東京在住）  
内 容：本展出品作家 内田あぐりさんと、鳥取に滞在制作中の「旅するムサビ」の参加学生4名  
を講師に、内田あぐりさんのモデルとして30年以上作品に関わってこられた舞踏家 大竹宥  
熙さんの舞踏を見ながら、床に置いた和紙に人体のかたちをとらえて描く。参加者の作品は  
会期中展示し、その後返却する。  
日 時：平成30年7月21日（土）  
対 象：幼児～一般  
人 数：40名

平成30年度企画展



# とつとりの化石 EXPO!

## 2018

中央・メガロドンの顎化石複製(笠岡市立カブトガニ博物館所蔵)

# 2018 7.14日 ▶ 8.26日

午前9時～午後5時

土日祝日は午後7時まで閉館 ※入館は閉館の30分前

[ 会期中無休 ]

会場：鳥取県立博物館 第1特別展示室

入館料：一般 500円 (団体・前売・大学生・70歳以上 300円)

高校生以下の方 障がいのある方・要介護者等およびその介護者  
難病患者の方・学校教育活動での引率者

**入場無料!**

主催：「とつとりの化石展」実行委員会(鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社)  
協賛：日本通運 株式会社モリックスジャパン 株式会社吉備総合商社 三和商事株式会社  
協力：大塚市立総合史博物館、笠岡市立カブトガニ博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、倉敷市立自然史博物館、  
国立科学博物館、広島市立北田自然史博物館、とつとり博物館、日南町美術館 ほか



鳥取県立博物館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

次回展覧会予告  
鳥取商埠の租上方編纂 - 明月来タリテ相照ラス -  
10月6日～10月11日



鳥取県には全国有数の化石産地があり、定説をくつがえした化石、新種の化石、古環境を知る証拠となる化石など、とてもたくさんの大発見がありました。しかし、大発見はこれで終わりではありません。これからもたくさんの大発見が私たちを待っているでしょう。本企画展では、「とっとりの化石」と「まわりの化石」を大公開します。貝、葉っぱ、昆虫、魚、ウニ、サメ、オオグツクムシ!? パラエティ豊かな化石たちをご覧ください!

## とっとりの化石

日本海ができ、大陸から日本列島が離れる中新世(約2300~500万年前)という時代の地層から化石がたくさん見つかっています。

全国有数の化石産地たち

### 多里層 一日野郡日南町多里



ツルナガホラドミヤ (日南町美術館所蔵) ミマサカソデガイ (日南町美術館所蔵) メガロドン歯 (鳥取県立博物館所蔵)

### 辰巳峠層 一鳥取市佐治町辰巳峠



タツミトウゴオサムシ (大阪市立自然史博物館所蔵) イナバムカシアブラゼミ (鳥取県立博物館所蔵) カシヤタヤ (鳥取県立博物館所蔵)

### 三朝層 一東伯郡三朝町成一



ムカシハルニレ (鳥取県立博物館所蔵) ヘイゲンイヌシテ (鳥取県立博物館所蔵) ホウキカンバ (鳥取県立博物館所蔵)

### 鳥取層群 一鳥取県東部



イナバケツギヨ (鳥取県立博物館所蔵) アカガカメムシ (鳥取県立博物館所蔵) トクナガムカシンプク (鳥取県立博物館所蔵)

## まわりの化石

鳥取県の周辺には同様な時代の地層が分布し、それぞれ個性的な化石が見つかっています。また、日本海沖からは約3万年前の大型哺乳類化石が見つかっています。

### 備北層群(広島県)



イシハラオオスッポン (広島市立比和自然科学博物館所蔵)

### 勝田層群(岡山県)



アナジャコ (どこでも博物館所蔵)

### 日本海沖



マンモス (鳥取県立博物館所蔵)

### 特別講演会 世界の魚類化石:シーラカンスから国府町宮下まで【無料】

日時: 7月29日(日) 14時~16時 場所: 当館2階講堂 定員250名(申込不要)  
講師: 篠本美孝氏(北九州市立自然史・歴史博物館 名誉館員)

### 映画上映会 谷田部透湖監督作品「木の葉化石の夏」【無料】

日時: 7月15日(日)、8月12日(日)、8月26日(日) 午前11時から1時間おきに上映(約10分)  
場所: 当館2階講堂 定員250名(申込不要) (11:00~、12:00~、13:00~、14:00~、15:00~、16:00~、17:00~)



「木の葉化石の夏」・谷田部透湖

このほかにも化石のイベントが盛りだくさん! 詳しくは当館パンフレット、ホームページをご覧ください。



### 交通のご案内

- ◎JR鳥取駅からバスで  
●100円バス「くる梨(緑コース)」で「①仁風園・県立博物館」下車すぐ  
●ループ麒麟獅子で「③鳥取城跡」下車すぐ  
●砂丘・湖山・賀露方面行「西町」下車約400m  
●市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎鳥取砂丘コナン空港から…鳥取駅連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

### ※当館駐車場21台

堀端・県庁北側[土・日・祝日のみ]・県庁の駐車場も利用できます



鳥取県立博物館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町二丁目124  
TEL.0857-26-8042 FAX.0857-26-8041  
ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>  
E-mail: [hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp](mailto:hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp)



お客様の満足のその先へ…  
株式会社モリックスジャパン

TEL 0857-23-3641

本社 鳥取市高米町203-6  
倉吉店 倉吉市下田中町870 中瀬ビル3F  
<http://www.morrrix.co.jp/>



内田あぐり 十 鳥取県立博物館コレクション



内田あぐり《drawing》2010年 部分 作家蔵

動  
静

平成30年度 美術部門テーマ展示 I 夏休み企画

7月21日|土| - 8月26日|日|

開館時間: 午前9時~午後5時 (入館は閉館の30分前まで)

土・日・祝日は午後7時まで開館、会期中無休

会 場: 鳥取県立博物館 2階 近代美術展示室

観 覧 料: 一般=180円 / 20名様以上の団体=150円

次の方々は無料です。◎大学生以下 ◎学校教育活動の引率者 ◎70歳以上

◎障がいのある方・要介護者等及びその介護者、難病患者の方



鳥取県立博物館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

# 動 静

内田あぐり + 鳥取県立博物館  
コレクション

映像や舞台芸術と異なり、動くことのない画面の中に動きという感覚を導入すること、つかのまに描かれる画面の中に、彫刻のような永遠の相を刻むこと。画家や写真家は常にこの二つの可能性の間で仕事をしてきました。ターナーは霧の中を走る機関車を描き、レンブラントが描く群像は17世紀の夜警たちの姿を永遠に画面にとどめます。

今年の夏休み企画テーマ展示では、人体をモチーフにダイナミックな身体の動きを表現してきた日本画家内田あぐりさんを迎えて、「動/静」というテーマで美術表現の多様な在り方を探ります。展示にあたっては、新しい試みとして、内田さん自身にゲスト・キュレーターも務めていただき、このテーマのもとに自らの作品と一緒に展示する作品を選んでいただきました。内田さんは、鳥取県を代表する写真家塩谷定好や、洋画家尾崎悌之助の作品などをコレクションの中から選びました。波がはじける荒天の日本海、モノクロームの中に浮かび上がる古代の石像。私たちは塩谷と尾崎の作品の間に、あるいは同じ作家であっても別々の作品の間に動と静という表現の二つの対比を認めることができます。

さらに展示と関連して、舞踏家の動く身体を実際にデッサンするワークショップも開催いたします。動と静というテーマに沿って、絵画と舞踏、通常では別々の営みと感じられる表現の接点を探ります。多くの方の来場、そしてワークショップへの参加をお待ちしています。



内田あぐり《河》2018年 作家蔵

photo: 吉江 淳 太田市美術館・図書館「佐久市立近代美術館コレクション+『現代日本画へようこそ』展会場風景



尾崎悌之助《原始への夢》1979年 当館蔵



塩谷定好《海》1937年 当館蔵



アトリエ風景

photo: 柳原 大

## 内田あぐり プロフィール

- 1975：武蔵野美術大学大学院日本画コース修了
- 1993：文化庁在外研修員として渡仏、山種美術館賞で大賞受賞
- 1999：現代日本絵画の展望展でステーションギャラリー賞受賞
- 2002：第1回東山魁夷記念日経日本画大賞展で大賞受賞
- 2003-04：武蔵野美術大学在外研修員として渡米
- 2006：内田あぐり個展「この世でいちばん美しい場所、あるいは」（平塚市美術館）
- 2009：大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009 に参加
- 2011：メキシコ政府スカラーシップ特別プログラムとしてメキシコに滞在・展覧会
- 2011：内田あぐり個展 絵画—素描 人体をつかむ（信濃デッサン館別館/機多庵）
- 2013：内田あぐり個展 “愛に関する十九のことは”（日本橋高島屋 美術館廊下）
- 2015：開館記念展 vol.1. モダン百花繚乱「大分世界美術館」—大分が世界に出会う、世界が大分に驚く「傑作名品 200 選」（大分県立美術館）  
絵の始まり 絵の終わり—下絵と本画の物語—（武蔵野美術大学美術館）
- 2018：開館1周年記念 佐久市立近代美術館コレクション+『現代日本画へようこそ』（太田市美術館・図書館）  
個展、グループ展多数 現在：武蔵野美術大学日本画学科教授

関連  
イベント

スペシャルワークショップ Moving—動きとかたち

7月21日(土)  
開催!!!

本展出品作家 内田あぐりさんと、鳥取に滞在制作中の「旅するムサビ」のみなさんを講師に、舞踏家 大竹宥熙さんの動く身体を描きます。内田あぐりさんと、そのモデルとして30年以上作品に関わってこられた大竹さんのお二人をお招きしてのスペシャルな企画です。大きな和紙に日本画の画材を使って、舞踏を味わい、大胆に楽しく描きましょう。

講師：内田あぐりさん（日本画家・武蔵野美術大学 教授）  
「旅するムサビ」のみなさん（武蔵野美術大学 学生）

モデル：舞踏家 大竹宥熙（おおたけ・ゆうき）さん

協力：武蔵野美術大学

場所：当館2階 近代美術展示室

時間：14時～16時

対象：小学生以上

定員：40名

申込：7月6日（金）8時30分から電話のみで受付します。（定員になり次第終了）

持参品：和紙は配布しますが、それ以外にも描きたい場合は紙を持参してください。（和紙以外でも可）  
汚れても良い服装でおいでください。

参加費：無料

★参加者の作品は、会期中展示室に展示し、8月27日（月）以降に返却します。

## 交通のご案内

- ◎JR鳥取駅から  
バスで①100円バス「くる梨（緑コース）」で②仁風園・県立博物館下車すぐ
- ◎ループ橋断獅子「◎鳥取城跡」下車すぐ◎砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- ◎市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎鳥取空港から 鳥取駅行空港連絡バスで「西町」下車約400m
- タクシー③約10分
- ◎徒歩で 鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ※当館駐車場21台駐車可能（なるべく公共交通機関をご利用ください。）



ワークショップ申込み・お問い合わせ

美術振興課 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124

TEL 0857-26-8045 FAX 0857-26-8041

E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp